

PRESS RELEASE

報道関係者各位

株式会社日本介護福祉グループ
地域連携ボランティア事業への取り組み

株式会社日本介護福祉グループ（東京都墨田区、代表取締役社長：小柳 壮輔）は、各地域や医療・介護関係他社と連携して、今後、より地域に密着した介護事業所となるため、「地域連携ボランティア事業」を実践し、活動を全国に広げていきます。

2015年4月の介護保険法改正では、医療と介護の地域連携・地域密着が推進され、また介護予防では地域のボランティア活動が推奨され、その活躍が期待されています。

弊社日本介護福祉グループは、全国に約800カ所の夜間対応型小規模デイサービス「茶話本舗」を展開しています。今後は地域包括ケアのモデルとして、それぞれの事業所がより地域の細やかな需要に応える介護サービスを展開し、地域の介護拠点（＝よりどころ）としての役割を担っていくことができるよう準備を進めて参ります。その計画の中で、まずは直営事業所において地域連携ボランティア事業を実践しています。

以下の事例の他、ご提供の準備が整い次第、順次各地域近隣の関係者の皆様にアナウンスさせていただきます。

【事例：茶話本舗デイサービス千代堂（仙台市青葉区）の取り組み】

多くのケアマネジャーの皆様や医療・介護事業所の皆様にご理解をいただき、プロのミュージシャンを志したことのある施設長 山下 圭（やました けい）による、本格的な「音楽療法を基礎とする意欲の誘導」出張ボランティアを実践しています。

【各施設の目的と評価】

デイサービス（月1回実施）

<目的> 介護予防：参加型エンターテイメントによる参加意欲の向上。

<評価> 笑いが絶えず、普段はレク参加に抵抗ある利用者が一緒に歌われていた。

軽費老人ホーム（月1回実施）

<目的> 地域交流・介護予防：入所者と近隣の皆様との定期的な交流。

<評価> 地域の皆様も楽しみにされている。講師の方の自発的で利他的活動となっている。職員もレクリエーション活動の勉強になる。

老人保健施設（隔月1回実施）

<目的> 意欲向上：ご入居者が自分では使えないと思っているが実は使える機能を見出し、自主的に身体を動かそうとして欲しい。

<評価> 多くのタイプの人に幅広いバリエーションで対応し、皆様が楽しんでいる。

病院併設デイサービス、ショートステイ（月 1 回実施）

<目的> 地域連携・介護予防：連携を強化し、事業所職員のスキルアップを図りたい。
地域との交流によりご利用者の社会参加を促進したい。

<評価> 今後も継続することで地域福祉の向上につながると思われる。

有料老人ホーム（月 1 回実施）

<目的> 介護予防：入居者の生活の中に刺激を与え、介護予防につなげたい。

<評価> 最後まで集中力を絶やさず、楽しまれていた。こんなに会場が一つになったのは初めて。

<本件に関するお問い合わせ>

広報室 久保

TEL : 03-5625-4456 FAX : 03-5625-4458

E-mail : kubo@sawahonpo.com